

株主の皆様へ

— 第96期 —

株 主 通 信

2015年4月1日～2016年3月31日

LIFE with ASKA

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する



2020
100th Anniversary

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第96期（2015年4月1日から2016年3月31日）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年に創立100周年を迎える当社は、経営ビジョンである「競争力のあるスペシャリティファーマ」の実現を目指し、本年度より5年間の中期経営計画「ASKA PLAN 2020」をスタートさせました。

本計画では、重点3領域（内科・産婦人科・泌尿器科）における更なるポジション強化を目標とし、「存在感のあるスペシャリティファーマ」を目指します。特にルテウム腔用坐剤や現在製造販売承認申請中のリファキシミンを中心とした新薬、チラーヂン等の基礎的医薬品、カンデサルタン等のオーソライズド・ジェネリックを中心とした後発医薬品を事業の柱と位置付け、その価値最大化を図ってまいります。

また、建設を進めてまいりましたいわき工場第四製剤棟が本年2月に竣工し、3月より稼働を開始しました。生産能力を増強し、安定的かつ効率的な生産体制の構築を図ることにより、原価低減を推進してまいります。

あすか製薬グループとして、一層の業務改善に取り組み、経営基盤を強化することで、最終年度には「売上高700億円・営業利益率10%・ROE8%」（連結）の目標を達成できるよう全社員一丸となって取り組んでまいります。

これからもすべてのステークホルダーの皆様のご期待に誠実にお応えし、社会から信頼される企業となるよう弛まぬ努力を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2016年6月



代表取締役社長

山口 隆

目次

株主の皆様へ	1	トピックス	7
事業の概況	2	主要製品	10
財務ハイライト（連結）	3	会社概要	11
連結財務諸表	4	株式の概況	12
中期経営計画	5	株式に関するお知らせ	13

当連結会計年度の業績は、売上高432億1千5百万円（前連結会計年度比0.7%増）、営業利益11億6千6百万円（前連結会計年度比18.1%減）、経常利益15億2千2百万円（前連結会計年度比11.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益7億1百万円（前連結会計年度比41.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①医薬品事業

一昨年9月末の経皮吸収型鎮痛消炎剤セルタツチの販売終了およびセオリアファーマ株式会社との物流業務終了を受け、当該事業の売上計上（前連結会計年度実績32億円）が無くなったものの、オーソライズド・ジェネリック カンデサルタン、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リユープロレリンの大幅な増加が続いたほか、昨年10月に中外製薬株式会社から承継した抗甲状腺剤メルカゾール等が売上増加に寄与したこともあり、当期間の売上高は、前連結会計年度とほぼ同水準の389億5千5百万円（前連結会計年度比0.1%増）となりました。一方、利益面では、創薬研究および臨床開発の進展により、研究開発費が増加したこと等の影響により、セグメント利益は31億2千6百万円（前連結会計年度比6.0%減）となりました。

②その他

その他事業では、動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しております。当連結会計年度の業績につきましては、動物用医薬品事業および臨床検査事業が順調に伸長したことにより、売上高42億6千万円（前連結会計年度比7.0%増）、セグメント利益1億8千4百万円（前連結会計年度比70.6%増）となりました。

研究開発におきましては、重点領域である内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進するとともに導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

黄体ホルモン製剤 AKP-008（プロゲステロン）は「ルテウム腔用坐剤」として本年4月21日に発売を開始しました。本剤は、日本産科婦人科学会、日本生殖医学会および日本受精着床学会より早期承認の要望書が提出されており、当社は、本剤が生殖補助医療における新たな選択肢として不妊治療のニーズにお応えできるものと考えております。

難吸収性抗菌薬 L-105（リファキシミン）は肝性脳症を対象とした臨床試験が終了し、現在製造販売承認を申請しております。なお、本剤は2013年5月に希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されております。

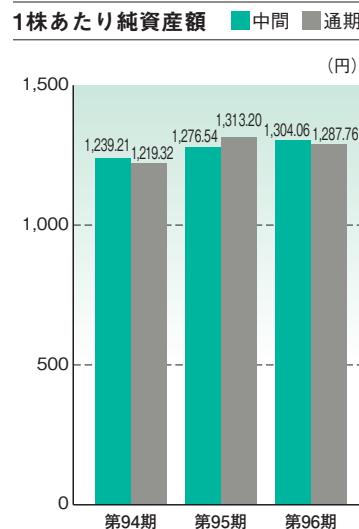
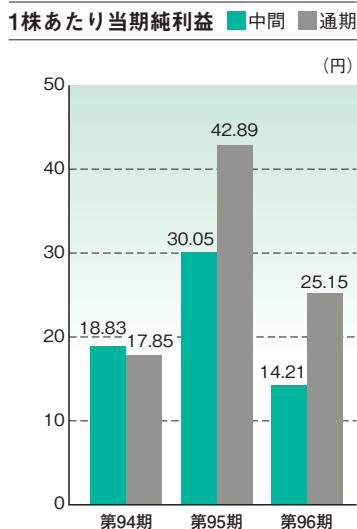
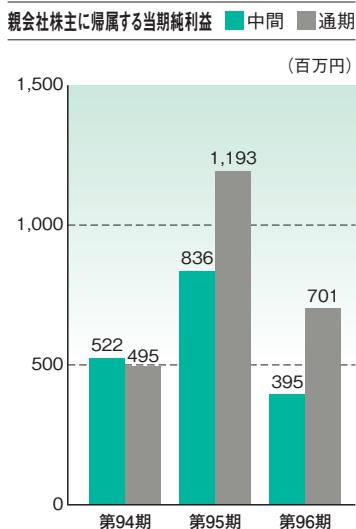
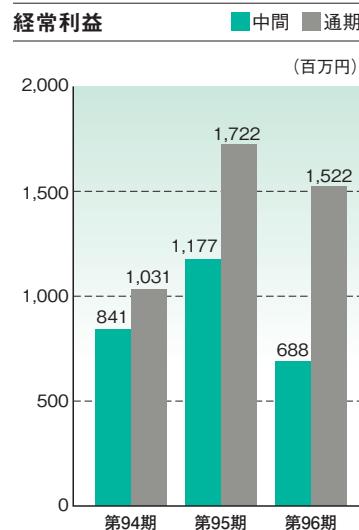
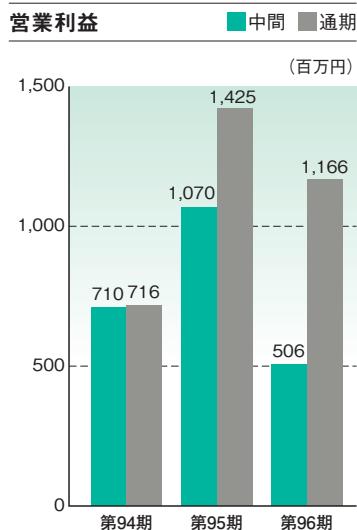
選択的プロゲステロン受容体調節剤 CDB-2914（ウリプリスタール）は、子宮筋腫を対象とした臨床試験に取り組んでおり、現在フェーズⅡ試験を実施中です。

生産面では、製品の安定供給と品質確保を最重要とし、適正在庫の維持や出荷体制の強化等に取り組んでおります。当連結会計年度におきましては、生産能力の拡充、グローバル品質の医薬品供給体制の構築を目的として、いわき工場内に第四製剤棟を建設し、本年3月に稼働を開始しました。

当社は、これからも企業情報を積極的かつ公正に開示し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーとの対話を充実させるべくIR・広報活動を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト (連結)



(注) 当期末の自己資本比率は62.6%です。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 2015年3月31日現在	当連結会計年度 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	32,190	26,878
現金及び預金	6,724	5,462
受取手形及び売掛金	8,483	8,566
有価証券	2,850	—
その他	14,131	12,850
固定資産	26,741	30,599
有形固定資産	13,103	13,801
無形固定資産	543	3,296
投資その他の資産	13,094	13,501
投資有価証券	9,244	8,985
その他	3,849	4,515
繰延資産	1	—
資産合計	58,933	57,478
負債の部		
流動負債	14,874	10,992
固定負債	7,481	10,524
負債合計	22,355	21,517
純資産の部		
株主資本	34,026	34,398
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	851
利益剰余金	34,447	34,759
自己株式	△ 2,464	△ 2,410
その他の包括利益累計額	2,550	1,562
その他有価証券評価差額金	2,834	1,984
退職給付に係る調整累計額	△ 283	△ 422
純資産合計	36,577	35,961
負債純資産合計	58,933	57,478

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	42,907	43,215
売上原価	25,717	26,072
売上総利益	17,189	17,143
返品調整引当金繰入額	△ 3	△ 1
差引売上総利益	17,193	17,144
販売費及び一般管理費	15,767	15,978
営業利益	1,425	1,166
営業外収益	446	506
営業外費用	149	150
経常利益	1,722	1,522
特別利益	58	213
特別損失	91	287
税金等調整前当期純利益	1,688	1,448
法人税等	530	746
当期純利益	1,157	701
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 35	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,193	701

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,710	△ 1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,897	△ 6,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 557	4,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	3,255	△ 4,112
現金及び現金同等物の期首残高	6,318	9,574
現金及び現金同等物の期末残高	9,574	5,462

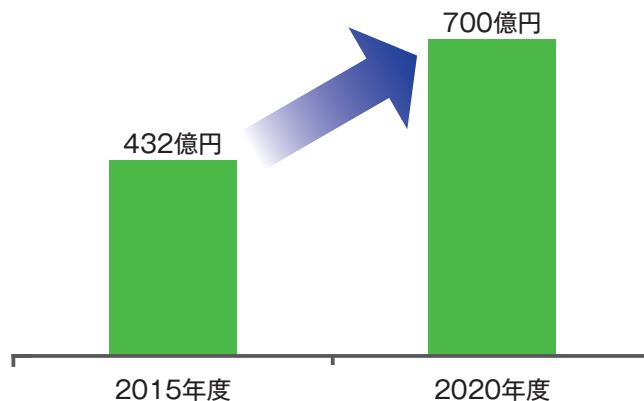
「ASKA PLAN 2020」スタート ～存在感のあるスペシャリティファーマへ～

当社はこの度、2016年度を起点とする「中期経営計画 ASKA PLAN 2020」を策定しました。本計画は、創立100周年を迎える2020年度を最終年度とする5カ年の計画で、この間を「スペシャリティファーマとしての飛躍」「持続的成長への足固め」の期間と位置づけ、「存在感のあるスペシャリティファーマへ」をビジョンとして掲げ、数値目標である『売上高700億円、営業利益率10%、ROE8%』の達成を目指してまいります。

本計画では、前中期経営計画「ASKA PLAN 2015」で推し進めてまいりました甲状腺薬等の基礎的医薬品の拡充とカンデサルタンおよびその配合剤のAG（オーソライズド・ジェネリック）を中心とした後発医薬品事業強化を引き続き推進するとともに、重点3領域【内科・産婦人科・泌尿器科】におけるスペシャリティファーマとしてのポジションを確立してまいります。

アニマルヘルス等のその他事業では、事業環境に対応しつつ得意とする領域での的確な施策を展開することにより収益向上に努めてまいります。

2020年度までに売上高700億円



「ASKA PLAN 2020」（2016年度～2020年度）の概要

ビジョン

「存在感のあるスペシャリティファーマへ」

最終年度

数値目標(連結)

売上高

700 億円

営業利益率

10 %

ROE
(自己資本利益率)

8 %

位置づけ

「スペシャリティファーマとしての飛躍」
「持続的成長への足固め」

事業方針

— 4つの挑戦 —

(1) 創薬機能の再構築を中心とした新薬事業強化

- ・ 創薬機能と開発機能の分割・再編成による機能強化
- ・ 開発パイプラインの拡充
 - 自社創製品の非臨床試験を推進
 - 複数の臨床試験を開始
 - ライセンス活動の活発化

(2) 育薬による製品価値向上と利益の最大化

- ・ L-105 リファキシミンへの取り組み
- ・ 甲状腺領域における啓発活動による市場の拡大
- ・ 産婦人科領域のリーディングカンパニーを目指す

(3) 原価低減、製品ポートフォリオ見直しを柱としたコスト構造改善・生産性向上

- ・ 高品質な製品の安定供給を継続、生産性向上と原価低減の推進

(4) 新人事制度のもと、社員の成長・能力向上

- ・ 社員の多様なキャリア志向に対応できる事業基盤の構築
- ・ 新人事制度導入による人的資源の有効活用と計画的な能力拡大

◆ 黄体ホルモン製剤「ルテウム腔用坐剤 400mg」新発売

当社は、黄体ホルモン製剤「ルテウム腔用坐剤 400mg」について、本年3月に製造販売承認を取得し、同4月に新発売しました。

本剤は、プロゲステロン400mgを含有する経腔黄体ホルモン製剤であり「生殖補助医療における黄体補充」の効能・効果を有しています。

生殖補助医療における黄体ホルモンの投与は、既に標準的な治療法として確立しておりますが、経腔投与製剤が未承認であったため、厚生労働省より医療上の必要性が高い薬剤として開発が要請されておりました。当社では長年にわたり培ったホルモン製剤の経験をもとに、本剤の開発を進めてまいりました。

本剤は、日本産科婦人科学会、日本生殖医学会および日本受精着床学会より早期承認の要望書が提出されるなど、生殖補助医療における新たな選択肢として高い期待が寄せられております。

産婦人科領域のスペシャリティファーマとして不妊治療に貢献し、今後も女性の健康と実り豊かなライフステージをサポートしてまいります。

◆ 日本甲状腺学会による感謝状授与

本年3月29日、長年にわたる当社の甲状腺医療への取り組みに対し、日本甲状腺学会の赤水尚史理事長から感謝状が贈呈されました。

甲状腺機能低下症の標準治療薬である「チラーヂン」に加え、昨年10月に抗甲状腺薬である「メルカゾール」「プロパジール」の2剤を承継したことで、今まで以上に充実した情報提供活動を行っております。今後も甲状腺疾患の啓発活動を通じ、甲状腺領域のスペシャリティファーマとしての社会的責任を果たしてまいります。



感謝状（楯）を受け取る山口社長（左）と日本甲状腺学会 赤水理事長（右）

◆ AG第3弾となる高血圧症治療剤「カデチア配合錠 LD・HD『あすか』」に関する事業化契約締結

当社と武田薬品工業株式会社は、本年2月24日付で、高血圧症治療剤「カデチア配合錠 LD・HD『あすか』」に関する事業化契約を締結しました。

本剤は、先発品である武田薬品工業株式会社の「エカード配合錠」と、原薬や添加物、製造方法が同等のオーソライズド・ジェネリック（Authorized Generic：AG）で、当社にとっては、「カンデサルタン錠『あすか』」、「カムシア配合錠 LD・HD『あすか』」に続く、3製品目のAGとなります。現在、発売に向けて準備を行っています。

今後とも患者様や医療関係者の皆様の多様な医療ニーズにお応えし、高血圧症治療に貢献してまいります。

◆ いわき工場 第四製剤棟竣工 ～新たなあすかのシンボルとして～

2015年度から建設を進めておりました「いわき工場第四製剤棟」が完成し、2016年2月24日にその竣工式を執り行い、3月中旬より業務を開始しています。

当社は、本年4月よりスタートした中期経営計画「ASKA PLAN 2020」の事業方針の1つに「原価低減、製品ポートフォリオの見直しを柱としたコスト構造改善・生産性向上」を掲げ、安定的かつ効率的な生産体制を構築するとともに、稼働率向上によるコスト競争力の強化に取り組んでおります。

第四製剤棟の稼働開始により生産能力を増強し、生産量や製品構成の変化にも柔軟に対応できる効率的な生産体制の構築を図ることで、さらなる原価低減を推進してまいります。



◆ 研究開発の状況(2016年5月現在)

開発コード/領域・効能	フェーズ			申請・承認	備考
	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ		
L-105(リファキシミン) 肝性脳症	[進捗バー]			申請	Alfa Wassermann S.p.A (イタリア)より導入
CDB-2914(ウリプリスタール) 子宮筋腫	[進捗バー]				Laboratoire HRA Pharma,SA (フランス)より導入
AKP-501(rFSH) 不妊症	フェーズⅠ				JCRファーマ(株)からの 導入および共同開発

★申請中のAKP-007、AKP-008については製造販売承認を取得いたしました。

◆ 新製品発売 ～新しくラインナップに加わりました～

内科	内科	産婦人科	産婦人科	泌尿器科
				
● 高血圧治療剤 カムシア配合錠 LD・HD「あすか」 カンデサルタン錠「あすか」 に次ぐ2製品目のオーソライズド・ジェネリックの配合錠です。	● 持続性ソマトスタチンアナログ製剤 オクトレオチド皮下注 50μg・100μg「あすか」 2016年6月発売予定です。	● 黄体ホルモン製剤 ルテウム腔用坐剤 400mg 生殖補助医療実施時の黄体補充を目的とした腔用坐剤です。	● 緊急避妊剤 ノルレボ錠1.5mg アドヒアランス向上を目的に開発した1回1錠タイプの緊急避妊剤です。	● 前立腺癌治療製剤 ピカルタミドOD錠 80mg「あすか」 2016年6月発売予定です。

医療用医薬品

内科	カンデサルタン	高血圧症治療剤
内科	アムロジピン	高血圧症治療剤
内科	チラーヂン	甲状腺ホルモン剤
内科	リビディル	高脂血症治療剤
内科	ラベプラゾール	プロトンポンプ阻害剤
産婦人科	アンジュ	経口避妊剤
産婦人科	ノルレボ	緊急避妊剤
産婦人科 泌尿器科	リュープロレリン	LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤
泌尿器科	ビカルタミド	前立腺癌治療剤
泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤



カンデサルタン錠2mg・4mg・
8mg・12mg「あすか」



アンジュ21錠・28錠



チラーヂンS錠12.5 μ g・25 μ g・
50 μ g・75 μ g・100 μ g



リュープロレリン酢酸塩注射用キット
1.88mg・3.75mg「あすか」



リビディル錠53.3mg・80mg



プロスタール錠25
プロスタールL錠50mg

動物用医薬品

動物用セロトロピン	注射用血清性性腺刺激ホルモン
リズミナル	犬慢性心不全用持続性ACE阻害剤
アイブロシンプラス	豚・鶏呼吸器疾患治療剤



動物用セロトロピン



リズミナル錠
1mg・2.5mg・5mg

会社概要 (2016年6月29日 現在)

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社 ASKA Pharmaceutical Co.,Ltd.
設立	1929年6月28日 (創立1920年6月16日)
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
研究所	川崎研究所(神奈川県川崎市)
工場	いわき工場(福島県いわき市)
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、横浜支店、千葉・埼玉支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	872名(連結) 796名(単体) (3月31日現在)

子会社

会社名	資本金 百万円	当社の 議決権比率 %	主要な事業内容
株式会社あすか製薬メディカル	30	100	検査事業、ヘルスケア事業、飼育関連業務
あすかActavis製薬(株)	345	100	医薬品の開発、販売ならびに輸出入
あすかアニマルヘルス(株)	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物等の製造、販売ならびに輸出入

役員

役員	代表取締役社長 全社統括	山口 隆
	専務取締役 社長補佐	丸尾 篤 嗣
	取締役常務執行役員 開発本部長、創薬研究担当	加藤 和 彦
	取締役常務執行役員 信頼性保証、監査、法務・コンプライアンス担当	川原 真 幸
	取締役常務執行役員 営業統括、マーケティング本部長 兼 あすかActavis製薬代表取締役社長	福井 雄 一郎
	社外取締役	上田 栄 治
	社外取締役	吉村 泰 典
	常勤監査役	大竹 充
	常勤監査役	齋藤 守 信
	社外監査役	武田 裕 二
	社外監査役	折木 榮 一

執行役員	常務執行役員 特命事項担当 (あすかアニマルヘルス(株)出向)	松葉 昌 行
	執行役員 管理本部長	村上 誠
	執行役員 特命事項担当 (株式会社あすか製薬メディカル代表取締役社長)	蓮見 幸 市
	執行役員 生産本部長	熊野 郁 雄
	執行役員 営業本部長	寺本 裕 国
	執行役員 信頼性保証本部長	仲田 崇 夫
	執行役員 創薬研究本部長	濱 崙 秀 久

株式の概況 (2016年3月31日 現在)

株式の状況

■発行済株式の総数	30,563,199株
■株主数	4,405名

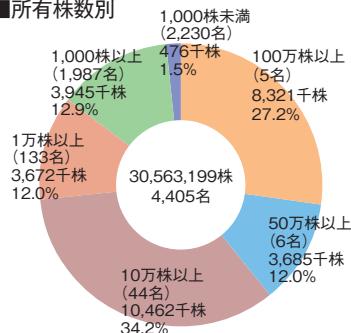
大株主の状況 (上位10位)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
武田薬品工業株式会社	2,204	7.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,599	5.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.9
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,044	3.7
山口 隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	662	2.3
株式会社ヤマグチ	556	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
日本生命保険相互会社	522	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7

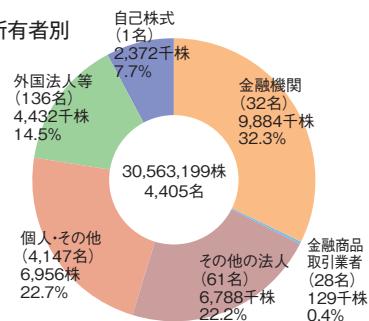
(注) 1. 当社は自己株式を2,372,002株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

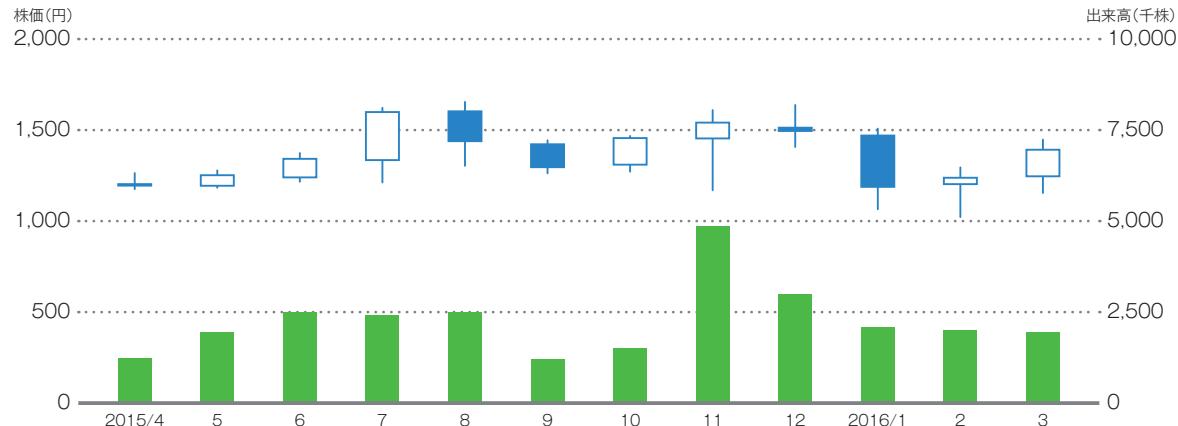
■所有株数別



■所有者別



株価・売買高の推移



株式に関するお知らせ

◆ 配当金を配当金領収証でお受取りの株主様へ

より安全で、迅速な配当金のお受取り方法として、次のいずれかをお勧めいたします。
詳細は、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

配当金を銀行口座で受取りたい

登録配当金受領口座方式 または 個別銘柄指定方式

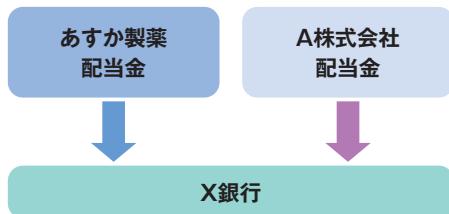
登録配当金受領口座方式

ご所有の全ての銘柄の配当金を1つの銀行（※）口座でお受取りいただけますので、配当金をまとめて管理したい株主様に便利です。

お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、全ての銘柄の配当金を、同一銀行口座でお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行は、指定出来ません。

※一部の銘柄だけ別の銀行口座や別の方式を指定することは出来ません。



個別銘柄指定方式

株式をご所有の銘柄ごとに銀行口座を指定して、配当金をお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行も指定出来ます。



配当金を証券会社の口座で受取りたい

株式数比例配分方式

配当金を証券会社の口座で管理したい株主様に便利です。複数の証券会社であすか製薬株式をご所有の場合でも、証券会社ごとのご所有株式数に応じて、配当金をそれぞれの証券会社の口座で按分してお受取りいただけます。お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、株主様のご所有の全ての銘柄についてお手続き出来ます。

また、2014年1月から開始した「NISA（少額投資非課税制度）」（※）において、配当金等を非課税とするには、本方式（株式数比例配分方式）を選択していただく必要があります。

ただし、ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合、またはご所有の株式の一部が、本方式を採用していない証券会社にご預託の場合には、本方式が適用されず、非課税とはなりませんのでご注意ください。



※NISA（少額投資非課税制度）とは

- ・NISA口座で購入した上場株式等の配当金および売買益等が5年間非課税になる制度です。
- ・非課税投資枠は、新規購入額で年間100万円（最大500万円）で未使用枠の翌年以降の繰越は出来ません。
- ・すでにご所有の上場株式等は対象になりません。

【お手続き・お問い合わせは…】

配当金の口座受取りに関するご相談は、お取引の証券会社等（口座管理機関）にお申し出ください。

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html
公告の方法	(ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告をすることが 出来ない場合は、日本経済新聞に掲載 して行う。)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4514

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセス出来ます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセス出来ます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などの変更 ・配当金の受領方法・振込先の変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料) http://www.tr.mufj.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことが出来ませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



本 社 〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03 (5484) 8361(代) FAX.03 (5484) 8351
<http://www.aska-pharma.co.jp/>

